



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年8月8日

上場会社名 株式会社Misumi 上場取引所 福  
 コード番号 7441 URL http://kk-misumi.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡 恒憲  
 問合せ先責任者 (役職名) サポート本部長兼経理部長 (氏名) 今田 和孝 (TEL) 099-260-2213  
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	12,969	15.8	220	89.1	288	58.8	242	121.6
29年3月期第1四半期	11,199	△13.6	116	△4.7	181	△4.5	109	—

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 383百万円(—%) 29年3月期第1四半期 △188百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	40.10	—
29年3月期第1四半期	18.08	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	34,731	16,156	45.9
29年3月期	34,656	15,889	45.2

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 15,928百万円 29年3月期 15,671百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	16.00	—	18.00	34.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	17.00	—	17.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	26,562	13.4	416	36.9	547	24.6	335	27.4	55.53
通期	57,041	10.1	1,096	4.7	1,399	1.4	766	43.5	126.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 - 社(社名) 、除外 - 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期1Q	6,100,503株	29年3月期	6,100,503株
30年3月期1Q	53,469株	29年3月期	52,469株
30年3月期1Q	6,047,823株	29年3月期1Q	6,052,898株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、企業収益や雇用環境の改善を背景に緩やかな回復基調が続いているものの、海外景気の下振れや欧米の政策動向が懸念されるなど、景気の先行きは不透明な状況で推移いたしました。

当社グループの営業基盤である南九州においては、雇用関連が堅調に推移し、生産活動や消費関連も持ち直しの傾向が見られるものの、人口減少を背景に、消費マーケットの縮小による競争の激化や人材確保難と労働単価の上昇によりコストが増加するなど、厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中で当社グループは、「収益性の改善」、「生産性の向上」を最優先課題に掲げ、サービス力の向上やお客様との接点拡大に向けた取組みを強化し、積極的な営業活動による販売シェアの拡大に努めるとともに、社員一人ひとりの生産性を高めるための人材教育・育成を図り人手不足への対応と業務効率の改善に努めております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は129億69百万円（前年同四半期比15.8%増）、経常利益は2億88百万円（前年同四半期比58.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億42百万円（前年同四半期比121.6%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### 1 エネルギー

「エネルギー」セグメントの石油部門では、積極的な営業活動による法人顧客の新規開拓に努めるとともに、サービスステーション（SS）の洗車・タイヤ・オイルなどの油外商品の増販や車検・整備売上の受注拡大を図るなど収益の改善に努めました。また、個人向けの「ENEOSカード」や法人向けの「FCカード」等の積極的な発券活動によるユーザーの囲い込み・固定化を図っております。

ガス部門では、法人顧客の新規開拓やGHPエアコンの販売強化に努めるとともに、訪問活動による接点強化を図り、電力販売の新規契約の獲得や住設機器の提案等による収益の拡大に努めております。

以上の結果、当期は原油価格の影響等に伴いエネルギー関連商品の販売価格が上昇し、加えて販売数量も増加したことにより、売上高は99億83百万円（前年同四半期比19.7%増）、セグメント利益（営業利益）は2億30百万円（前年同四半期比44.6%増）となりました。

#### 2 ライフスタイル

「ライフスタイル」セグメントのカルチャー部門では、季節商材や売れ筋商品を中心に、品揃えの強化と売場レイアウトの変更を実施するとともに、イベントの開催や販促活動の実施等により、集客率のアップと購買意欲を高める取組みで、各種商品及びレンタルの売上拡大を図りました。また、既存店舗の大型リニューアル計画を具体的に進める一方で、工事期間中の収益を確保するためにも、一人ひとりの生産性を高めるための人材育成に努めております。

自動車部門では、イベントや出張展示会を継続的に開催し、プジョー車の認知度向上を図ることで、新車販売の受注拡大に努めるとともに、タイヤ販売においては、試走会の開催等による新商品のPR活動に加え、更なる収益拡大に向けて営業力の強化に取り組んでおります。

ホームライフ部門では、完成見学会や展示会を計画的に実施することで集客を図り、新築・リフォーム受注の掘起しに努めました。

以上の結果、タイヤ販売の売上が好調に推移したこと等により、売上高は17億47百万円（前年同四半期比4.7%増）、セグメント利益（営業利益）は1億11百万円（前年同四半期比61.8%増）となりました。

#### 3 フード&ビバレッジ

「フード&ビバレッジ」セグメントの外食部門では、人件費の適正化を中心にコスト管理を徹底するとともに、オペレーション力の強化による品質管理の向上と廃棄ロスの削減を図り、収益の改善に努めました。

ミネラルウォーター部門では、電気契約者向けに実施している「6ヶ月間の宅配お試しキャンペーン」を継続し、ガス小売店舗との連携による一般顧客向けの宅配件数の新規獲得に努めました。

以上の結果、外食部門の収益改善等により売上高は12億38百万円（前年同四半期比3.8%増）、セグメント利益（営業利益）は63百万円（前年同四半期比18.0%増）となりました。

（上記金額には、消費税等は含まれておりません。）

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて74百万円増加し、347億31百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が減少した一方、現金及び預金や投資有価証券（固定資産の投資その他の資産）が増加したこと等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて1億92百万円減少し、185億74百万円となりました。これは主に、借入金が増加した一方、支払手形及び買掛金や未払法人税等が減少したこと等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて2億67百万円増加し、161億56百万円となりました。これは主に、利益剰余金やその他有価証券評価差額金が増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想は、平成29年5月11日発表から変更ありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,634,180	6,752,598
受取手形及び売掛金	4,645,180	3,520,994
商品及び製品	2,429,428	2,354,302
仕掛品	21,802	31,634
原材料及び貯蔵品	39,445	43,158
その他	614,533	679,552
貸倒引当金	△48,902	△45,738
流動資産合計	13,335,669	13,336,501
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,485,670	3,447,975
土地	12,097,653	12,078,780
その他(純額)	935,701	935,460
有形固定資産合計	16,519,025	16,462,216
無形固定資産	197,598	184,117
投資その他の資産		
その他	4,851,376	5,000,604
貸倒引当金	△247,201	△252,211
投資その他の資産合計	4,604,174	4,748,393
固定資産合計	21,320,798	21,394,727
資産合計	34,656,467	34,731,228
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,106,079	1,510,340
短期借入金	4,480,000	4,485,000
1年内返済予定の長期借入金	2,556,660	2,620,012
未払法人税等	400,536	78,187
賞与引当金	260,545	404,928
厚生年金基金解散損失引当金	267,514	267,514
その他	1,358,262	1,318,086
流動負債合計	11,429,597	10,684,069
固定負債		
長期借入金	5,198,734	5,893,380
役員退職慰労引当金	795,340	603,900
その他	1,343,023	1,393,029
固定負債合計	7,337,097	7,890,309
負債合計	18,766,694	18,574,379

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,690,899	1,690,899
資本剰余金	1,646,600	1,646,600
利益剰余金	11,657,641	11,791,316
自己株式	△82,150	△83,993
株主資本合計	14,912,991	15,044,823
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	861,012	972,824
退職給付に係る調整累計額	△102,757	△89,114
その他の包括利益累計額合計	758,254	883,709
非支配株主持分	218,527	228,316
純資産合計	15,889,773	16,156,848
負債純資産合計	34,656,467	34,731,228

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	11,199,199	12,969,238
売上原価	8,531,777	10,181,545
売上総利益	2,667,422	2,787,693
販売費及び一般管理費	2,550,622	2,566,817
営業利益	116,799	220,875
営業外収益		
受取利息	958	792
受取配当金	20,346	20,991
受取賃貸料	33,191	27,776
その他	58,596	55,974
営業外収益合計	113,094	105,535
営業外費用		
支払利息	24,936	15,587
賃貸費用	13,997	3,044
その他	9,452	19,562
営業外費用合計	48,386	38,194
経常利益	181,507	288,216
特別利益		
固定資産売却益	782	461
特別利益合計	782	461
特別損失		
固定資産売却損	2,225	800
特別損失合計	2,225	800
税金等調整前四半期純利益	180,064	287,877
法人税、住民税及び事業税	79,818	56,842
法人税等調整額	△15,599	△26,664
法人税等合計	64,218	30,178
四半期純利益	115,845	257,699
非支配株主に帰属する四半期純利益	6,401	15,159
親会社株主に帰属する四半期純利益	109,444	242,539

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	115,845	257,699
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△312,414	111,811
退職給付に係る調整額	8,499	14,267
その他の包括利益合計	△303,914	126,079
四半期包括利益	△188,068	383,778
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△195,053	367,994
非支配株主に係る四半期包括利益	6,984	15,784

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	エネルギー	ライフ スタイル	フード& ビバレッジ	計		
売上高						
外部顧客への売上高	8,337,025	1,669,424	1,192,749	11,199,199	—	11,199,199
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,444	25,762	7,216	38,423	△38,423	—
計	8,342,470	1,695,186	1,199,966	11,237,622	△38,423	11,199,199
セグメント利益	159,332	69,001	54,123	282,457	△165,658	116,799

(注) 1. セグメント利益の調整額△165,658千円には、セグメント間取引消去1,605千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△167,263千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	エネルギー	ライフ スタイル	フード& ビバレッジ	計		
売上高						
外部顧客への売上高	9,983,141	1,747,940	1,238,156	12,969,238	—	12,969,238
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,200	35,042	5,899	46,142	△46,142	—
計	9,988,342	1,782,982	1,244,056	13,015,381	△46,142	12,969,238
セグメント利益	230,472	111,612	63,865	405,950	△185,074	220,875

(注) 1. セグメント利益の調整額△185,074千円には、セグメント間取引消去1,295千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△186,369千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。